

平成30年度 第2回 長浜市総合教育会議 次第

日時：平成30年10月17日（水）13時30分

場所：長浜市役所 本庁舎3階 特別会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

テーマ：若者のふるさと回帰を図る取組について

- (1) 重点プロジェクト「長浜人づくり」プロジェクトについて
- (2) 未来に輝く長浜人育成事業について
- (3) 高校生 Challenge&Creation プロジェクト事業について
- (4) 意見交換

○子ども・若者の時にできる取組、行なっていくべき施策について

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

- ・資料1 「長浜人づくり」プロジェクトについて
- ・資料2 未来に輝く人づくりバンク登録・派遣事業
- ・資料3 高校生 Challenge&Creation プロジェクト

平成30年度 第2回 長浜市総合教育会議 出席者名簿

1 構成員

役 職	氏 名
市 長	藤 井 勇 治
教 育 長	板 山 英 信
教 育 委 員	井 関 真 弓
教 育 委 員	西 橋 義 仁
教 育 委 員	西 前 智 子
教 育 委 員	廣 田 光 前
教 育 委 員	美 濃 部 俊 裕

2 オブザーバー

役 職	氏 名
副 市 長	大 塚 義 之

3 事務局

所 属 ・ 役 職	氏 名
教育部長	米 田 幸 子
教育委員会事務局次長	横 尾 博 邦
教育委員会事務局次長兼教育総務課長	岩 田 健
教育改革推進室長	土 田 康 巳
教育指導課長	伊 藤 浩 行
すこやか教育推進課長	大 田 久 衛
幼児課長	大 音 洋
教育総務課課長代理	今 井 健 剛
教育総務課主査	大 石 文 哉
生涯学習文化課長	藤 田 輝 雄
市民活躍課課長代理	川 瀬 智 久
総合政策部長	古 田 晴 彦
総合政策課課長	横 尾 仁
総合政策課課長代理	柴 田 拓 也
総合政策課主事	田 中 沙 知

長浜市総合計画における重点施策

「^{なが はま びと}長浜人づくり」 プロジェクトについて

平成30年10月17日(水)

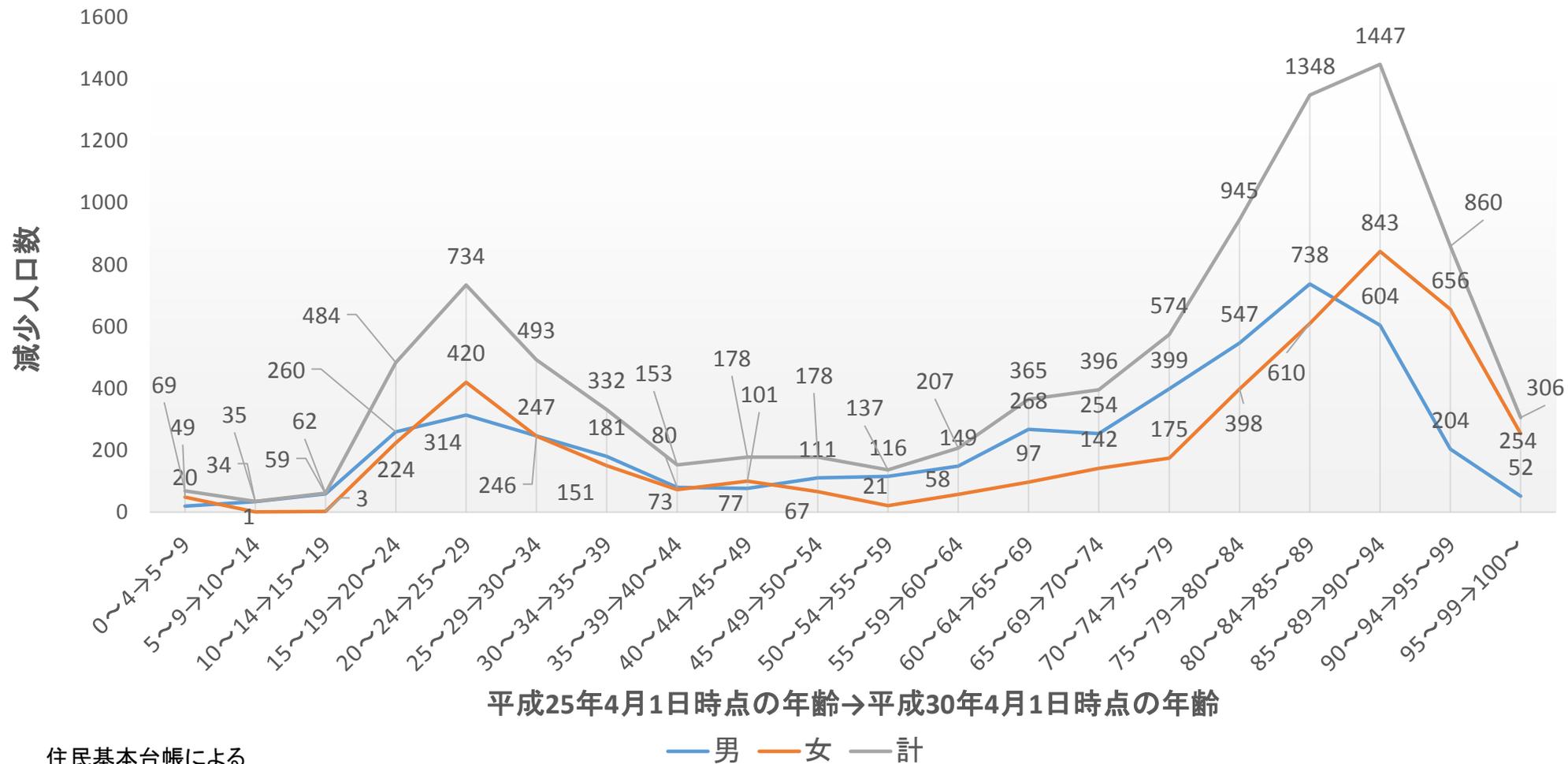
「長浜人づくり」プロジェクトとは

【方向性】

- 高校生の将来の「ふるさと回帰」に向け、
地域との繋がりづくりを進める。
- 女性の「ふるさと回帰」に向け、
女性にとって魅力的なまちづくりを進める。
- 外国人市民が活躍できる、
多文化共生のまちづくりを進める。

長浜市の人口について

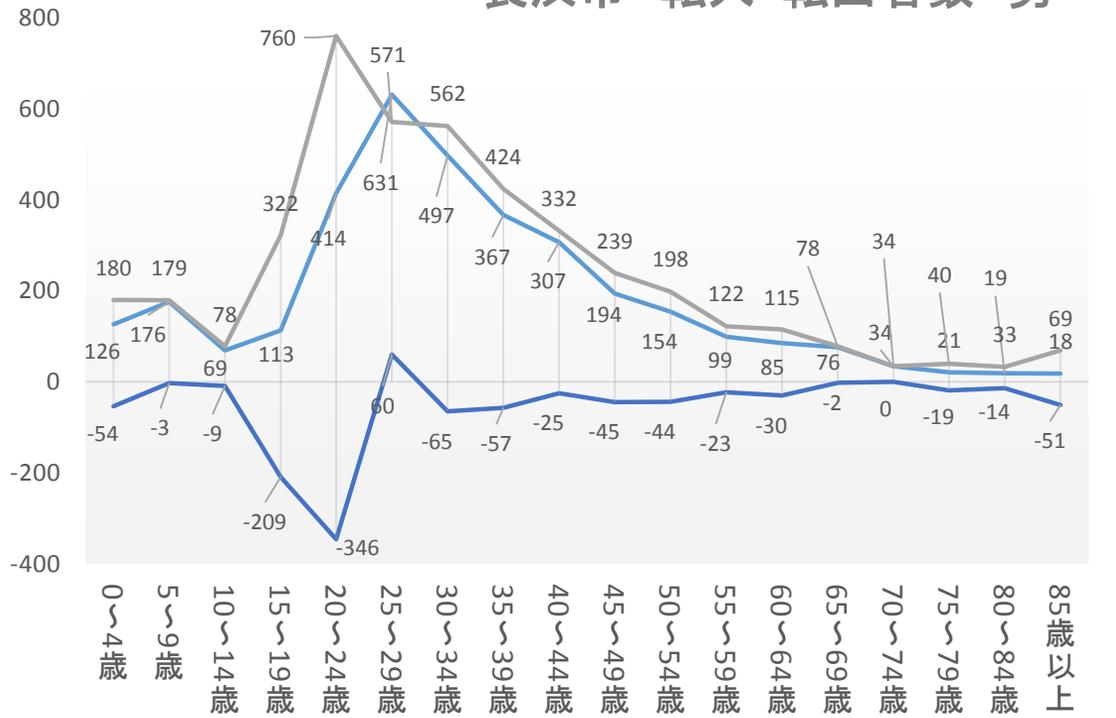
平成25年→平成30年の男女別人口減少数



住民基本台帳による

長浜市の人口の社会動態について

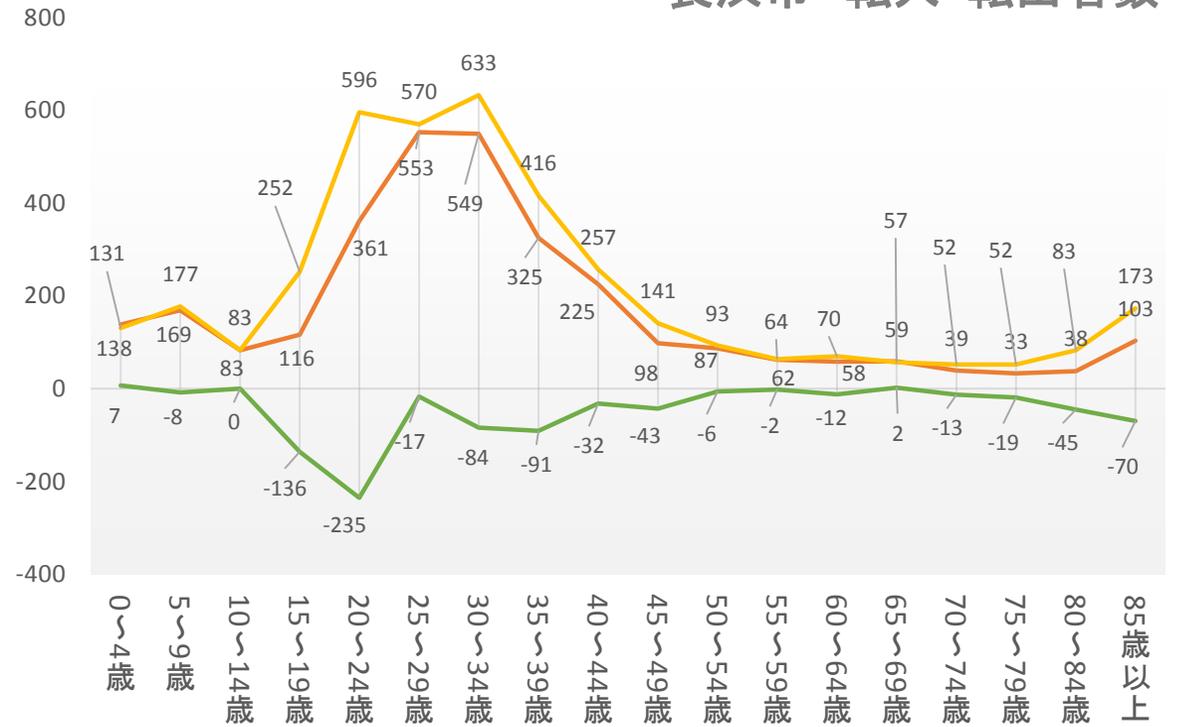
長浜市 転入・転出者数 男



- 現住市区町村による5年前の常住市区町村(転入)
- 5年前の常住市区町村による現住市区町村(転出)
- 転入-転出

H27国勢調査より

長浜市 転入・転出者数 女



- 現住市区町村による5年前の常住市区町村(転入)
- 5年前の常住市区町村による現住市区町村(転出)
- 転入-転出

H27国勢調査より

「長浜人づくり」プロジェクトの現状と課題

【現状】

- ① 社会増減の現状をみると、男女共に大学進学、就職等による市外転出が多い。
- ② 男性は20歳代に一定のUターンが見られるが、女性は30歳代前半ごろまで転出者が多く、男性と異なる転出入の傾向が見られる。

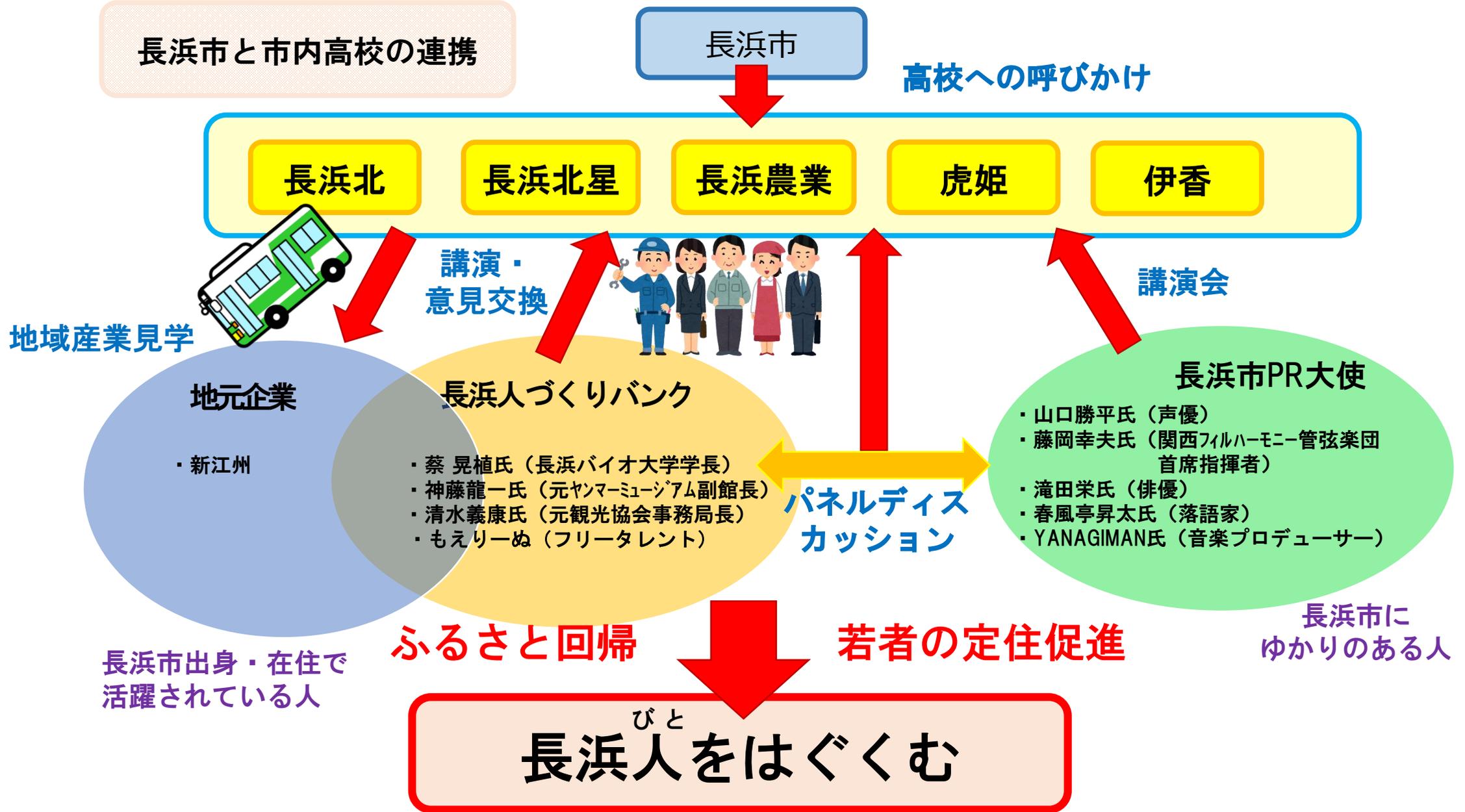
【課題】

- ① 大学進学、就職等を機に市外へ転出した若者（特に女性）の回帰率を上げ、地域の活力を維持向上させる必要がある。
- ② 「人づくり」という性質上、事業効果がすぐに現れるものではないため、時間をかけて継続していく必要がある。

「長浜人」プロジェクトの事業について

【高校生 ターゲット】

- 未来に輝く人づくりバンク登録・派遣事業
- 高校生 Challenge & Creation プロジェクト



ながはまびと 未来に輝く長浜人育成事業

1 目 的

長浜市内の高校に通う高校生に長浜の魅力を伝え、長浜市を誇りに思い、地域や産業を担う「長浜人」を育むとともに、若者の「ふるさと回帰」を図ります。

2 内 容

(1) 未来に輝く人づくりバンク事業

長浜市出身・在住で文化・産業・科学・歴史など各分野で活躍されている人または企業・団体等や「長浜市PR大使」などの長浜市に縁の深い人を「長浜人づくりバンク」として登録します。



(2) 未来に輝く人づくり授業等実施事業

人づくりバンクに登録いただいた方などを講師として、市内の高校に通う高校生を対象に「授業」や「意見交換会」、「講演会」や「パネルディスカッション」を実施します。また、企業等の現地見学等を行うことにより、その活動・事業内容、地域に対しての取り組みなどを伝えます。



3 効 果

長浜市出身・在住で活躍されている方々の知識や経験、地域に根ざした企業や団体等の魅力を市内の高校生に伝えることで、長浜市に対する誇りや郷土愛が養われ、これからの地域や産業を担う人材を育成することができます。また、地域への愛着や感謝の心、地域にかかわる当事者としての意識を育てることで、将来のふるさと回帰、若者定住を促進することができます。

○事業概要と目的

若者のふるさと回帰を目的に、高校生を対象に、市民、大学、企業などに関わりながら地域に新たな価値を見出すプロジェクトに挑戦する機会を提供します。
この機会を通じて、高校生が地元にいる間に「地元の良さを知る」、「世代を超えたつながりをつくる」、「地元の未来をつくる」機会をつくり、地元で暮らすことのおもしろさを伝えます。

○対象

長浜市内の高校に在籍、または長浜市内在住の高校生



○プロジェクト内容

高校生が、夏休みなどを利用し、市民、大学、企業などに関わりながら、地域に新たな価値を生み出す (Creation) プロジェクトに挑戦 (Challenge) する機会を提供。

- ・地域発見フィールドワーク
- ・アイデア創出ワークショップ
- ・プロジェクトの実施
- ・発表会の開催 など

中心市街地と北国街道木之本宿をフィールドにした2種類のプロジェクトを実施。

◇まちなかスイーツプロジェクト

①活動内容

長浜の商店街を中心に新たな観光資源として「スイーツ」に注目し、新たな周遊観光のテーマとルートを開発します。高校生が商店街のスイーツ店に訪問して、商品やそこで働く人について取材・調査を実施。広告パンフレットを制作します。

②活動場所 中心市街地一帯

③参加人数 20人



◇本のまち木之本 ポスタープロジェクト

①活動内容

古本市開催の一環として高校生によるポスター制作のワークショップを開催し、古本市への誘客を行います。「各個人が思う『本』についていいね！」をテーマとし、本の楽しさや面白さを伝えるポスターを制作し、各店舗等に飾ります。

②活動場所 北国街道木之本宿一帯

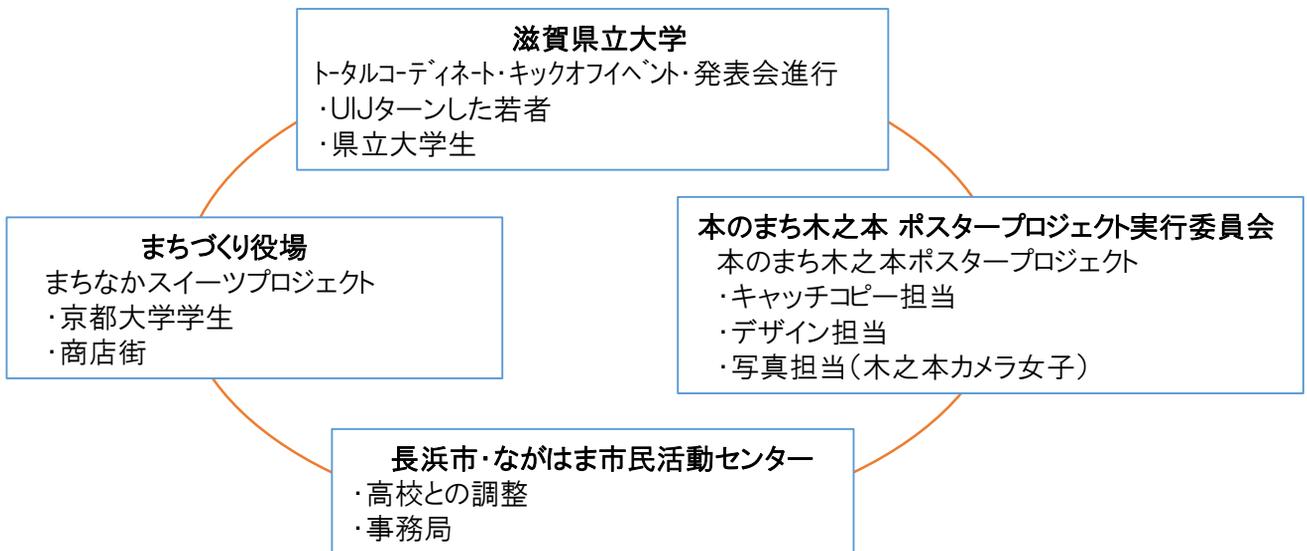
③人数 12人

作成ポスター



○プロジェクト実施体制

- ・トータルコーディネイト、キックオフ講座・発表会進行 滋賀県立大学
- ・まちなかスイーツプロジェクト まちづくり役場
- ・本のまち木之本ポスタープロジェクト 本のまち木之本 ポスタープロジェクト実行委員会
- ・高校との調整・事務局 長浜市(市民活躍課・総合政策課)、ながはま市民活動センター



○講座日程

6月から受講生募集(チラシ、広報、市募集サイト、直接高校に依頼)

(1)キックオフ講座 35人参加

日時:7月21日(土) 14時30分~17時 会場:曳山博物館

- ・高校生プロジェクトの趣旨や今後のスケジュールの説明
- ・Uターン経験者による「ふるさと回帰について」の講演
- ・長浜市在住でまちづくりに関わっている若者との交流
- ・各プロジェクトの内容説明と打合せ

(2)プロジェクト別活動

日程:8~12月 各プロジェクトに分かれての活動

○まちなかスイーツプロジェクト

- ・8月~12月 8回程度開催
- ・12月 スイーツパンフレット完成

○本のまち木之本ポスタープロジェクト

- ・8月 3回開催
- ・10月6日・7日 アートインナガハマにおいてポスター展
- ・10月中旬~12月 木之本町の商店街、市内の駅にポスター展示
- 11月4日 木之本ひとはこ古本市においてポスター展

(3)発表会&交流会

日時:12月未予定 会場:未定

- ・成果発表会の開催
- ・修了証の授与
- ・交流会の開催

